

第151回医療連携懇話会特集号



第151回医療連携懇話会を終えて

整形外科 主任部長／地域医療連携室 副室長 椿 崇仁

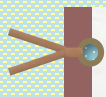
「県立中央病院をまるごとご紹介します」をテーマに第151回医療連携懇話会を7月15日(水) 19時からANAクラウンプラザホテル松山にて開催いたしました。ご多忙の中、院外参加90名の方にご参加賜り、院内参加者54名と合わせて計144名の賑やかな懇話会となりました。院外参加者の内訳は医師55名と薬剤師、看護師、ソーシャルワーカーなど35名の医療関係者でした。

愛媛県公営企業管理者 東野政隆の挨拶に引き続いて、愛媛県立中央病院28診療科の主任部長が前もって作成したスライドを用いて診療科紹介を行いました。診療科も多く、1診療科2分と少し短めの持ち時間でしたが、コンパクトに練りこんで作った内容のスライドで、各診療科の診療内容、特徴、アピールポイントがまとめられており、患者様をご紹介いただく際の参考になるかと考えております。例年どおり、二宮室長の「2分以内で！時間厳守ね！」との念押しが功を奏したのか、ほぼ定刻どおりに診療科紹介を終えることができました。

各科の診療科紹介の後、隣の会場に移動して、意見交換会が開かれました。立食形式での意見交換会でお互いの顔を合わせ、アルコールも入り、皆様と積もる話に時間を忘れるような楽しい会合になりました。

これまで多くの患者様をご紹介いただき、皆様のおかげでわが愛媛県立中央病院は多くの患者様の診療にあたることであります。重ねて御礼申し上げます。これからも引き続き当院をよろしくお願い申し上げます。

今回開催されました28診療科のスライドを、ご紹介したいと思います。今後ご紹介の参考になれば幸いです。



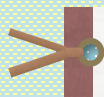
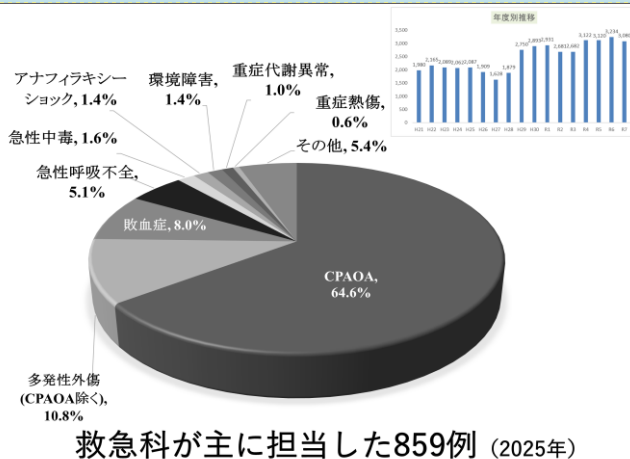
救急科

救命救急センター 救急科



上段) 二宮、芝
後列) 佐藤、中村、(塩岡)、田中、馬越
前列) 齊藤、越智、中城、竹内、橘

- 救急科11名(救急科専門医11名、集中治療専門医6名)
救急科専門研修プログラム指定施設
集中治療専門研修施設
日本航空医療学会認定指定施設
- 救命救急センター 初期診療(三次初療室)
- 重症入院患者診療(ICU・救命HCU)
- 病院前救急 愛媛県ドクターヘリ基地病院
ドクターカー、医師同乗救急(松山消防ワークステーション)
- 災害医療(基幹災害拠点病院、原子力災害医療拠点病院)



麻酔科

麻酔診療

●安全・安楽な麻酔・周術期管理

- 2名以上の麻酔科医による麻酔前診察で周術期のリスクを管理
- 神経ブロックなどによる多角的鎮痛法を用いた痛みの緩和
- 術後の嘔気嘔吐対策

●麻酔症例数：5027例

緊急：1135例(約22%)

- 心血管外科：543例
- 呼吸器外科：167例
- 脳神経外科：237例
- 小児(6歳以下)：206例
- 産科(帝王切開)：275例



集中治療診療

●術後症例の早期離床

- 術直後からの積極的な離床(痛み緩和・嘔吐対策、呼吸・循環管理など)
- 全身麻酔後短時間リカバリーによる安全の確保

●院内重症化症例の集中治療

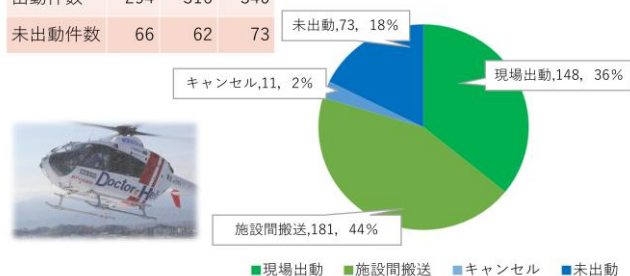
- 手術後症例：1934例
入室：1783例
リカバリー：151例
- 院内重症化例：63例
- 稼働率：84.5%
平日：93.4%
休日：55.6%



愛媛県ドクターヘリ運航状況

	2023	2024	2025
要請件数	360	378	413
出動件数	294	316	340
未出動件数	66	62	73

愛媛県ドクターヘリ運航状況2025



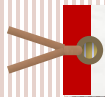
ペインクリニック診療

●緩和ケア診療中心のペインクリニックへ

従来の良性的難治性の痛み診療から、がん性の痛みの緩和医療にシフトチェンジ

院内紹介の症例のみ対応

- 外来
- 火曜：緩和ケア
- 金曜：良性的難治性の痛み

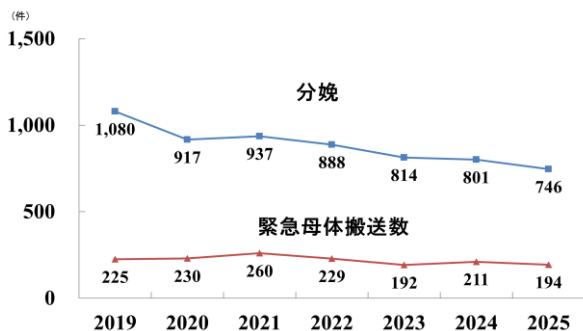


産婦人科

産婦人科の紹介

- 県内唯一の総合周産期母子医療センターの産科部門として、24時間、365日、緊急搬送に対応しています。夜間休日の超緊急帝王切開においても、新生児内科・麻酔科などとの緊密な連携のもと、15分以内に児を娩出できる体制を整えています。
- 婦人科良性腫瘍においては、その多くを腹腔鏡下手術や子宮鏡下手術で行っており、手術を受ける患者さんの負担の軽減、入院期間の短縮をはかっています。悪性腫瘍に関しては、外来化学療法を積極的に取り入れ、患者のQOLに留意した治療を行っています。

産科部門の紹介

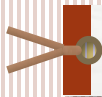


産婦人科スタッフ



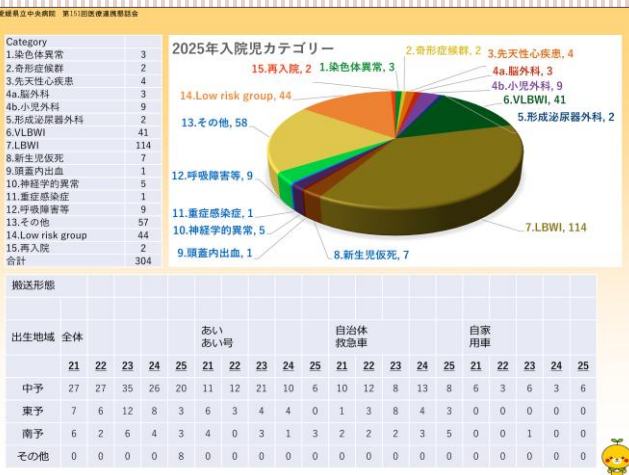
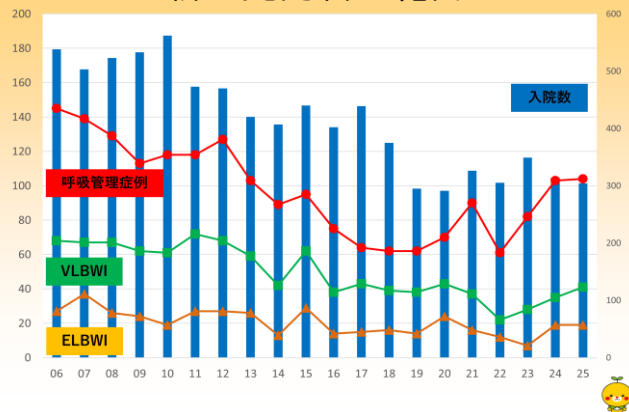
WHO/ユニセフによる赤ちゃんにやさしい病院 (BFH) 認定書
パブ・ピカソ「母と子」

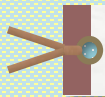
いつもたくさんの患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございます。
これからも愛媛県の産婦人科医療の一助になるよう努めて参ります。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



新生児内科

新生児内科の紹介





小児科

小児科の紹介

愛媛の小児医療の拠点

- Common diseaseから高度な集中医療まで、急性期から慢性期まで幅広い医療を提供

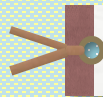


三次を含む救急医療

- 二次救急受け入れ
- 愛媛県内からの三次救急を常時受け入れ
- 虐待対策事業

最先端の専門医療

- 小児専門医（循環器、神経、血液腫瘍、免疫、感染症、アレルギー、代謝内分泌）による専門性の高い最先端の医療を提供



小児外科

新生児の手術症例

疾患名	症例数
先天性横隔膜ヘルニア根治術	1
腹壁破裂・多段階手術	1
腸回転異常症手術	1
人工肛門造設術	1
直腸肛門奇形根治術（会陰式）	3
合計	7



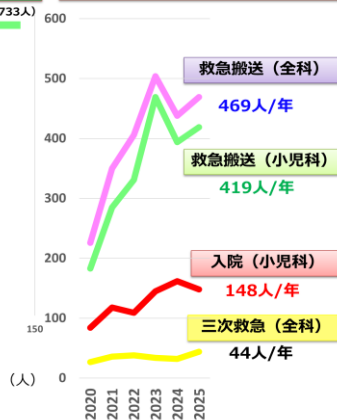
腹壁破裂の一例

小児科入院 疾患別患者数



- 感染症に関連した入院が多い
- けいれん重積/脳症の鑑別・診療
- アレルギー/喘息への救急対応
- 小児固形腫瘍/白血病の診療
- IBD/自己炎症疾患への高度医療

16歳未満の救急搬送された患者数



鏡視下手術症例

疾患名	症例数
腹腔鏡下虫径ヘルニア・陰嚢水腫根治術	63
腹腔鏡下虫重切除術	4
腹腔鏡補助下直腸肛門奇形根治術	1
腹腔鏡下尿管管遺残摘出術	1
合計	69

その他の手術症例

疾患名	症例数
先天性横隔膜ヘルニア根治術	1
臍ヘルニア根治術	8
臍ヘルニア・メックル憩室摘出	2
腸回転異常症手術	1
人工肛門造設術・閉鎖術	6
直腸肛門奇形根治術	2
直腸・肛門脱根治術	1
イレウス解除術	2
先天性胆道拡張症根治術	1
精巣固定術	4
虫径ヘルニア根治術	2
卵巣良性腫瘍手術	1
V-Pシャントチューブ交換	1
合計	32

愛媛の子ども達の未来を共に守り抜きましょう

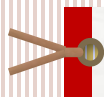


スタッフ紹介



野口 伸一 (主任部長 昭和63年卒)
 近藤 剛 (部長 平成12年卒)
 田中悠一朗 (医師 令和2年卒)

	月	火	水	木	金
外来新患	手術日	田中	近藤	野口	手術日
外来再来		近藤	野口	田中	

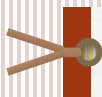


腎臓内科

診療目標・対象疾患

診療目標： 末期腎不全への進行抑制
腎臓病患者の生命予後・健康寿命改善

対象疾患： 検尿異常（尿蛋白・潜血）
電解質異常
腎炎・ネフローゼ症候群・腎血管炎
高血圧、腎硬化症、糖尿病性腎症
慢性腎臓病
急性腎障害
常染色体優性多発性のう胞腎
末期腎不全（血液・腹膜透析・
アクセストラブル）



泌尿器科

手術統計(2025年)

順位	手術名	症例(例)
1	前立腺生検	303
2	経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)	211
3	内シャント造設術 (AVF)	90
4	根治的前立腺全摘除術 (RARP)	90
5	前立腺レーザー核出術 (HoLEP)	47
6	経尿道的尿管碎石術 (TUL)	40
7	腎摘除術（開腹3、ロボット11、腹腔鏡10）	24
8	腎尿管全摘除術（ロボット21、腹腔鏡3）	24
9	透析用長期流離型カテーテル留置術	23
10	腎部分切除術 (RAPN)	22

病診連携

かかりつけ医から腎臓専門医への紹介の目安

チェックリスト

*eGFRの単位はmL/分/1.73m²

eGFRの基準	☐ ① eGFR45未満（40歳未満はeGFR60未満）
	☐ ② 1年間でeGFRが10以上低下
	☐ ③ 3ヶ月以内にeGFRが20以上低下
尿検査の基準	☐ ④ 尿蛋白2+以上
	☐ ⑤ 尿蛋白と尿潜血ともに陽性（1+以上）
	☐ ⑥ 尿蛋白/尿Cr比が0.5g/gCr以上

①～⑥のいずれかに該当する場合は、腎臓専門医への紹介をご検討ください。
特に③に該当する場合は、急速に進行する腎不全の可能性あります。早急なご対応をお願いします。
上記はあくまで目安です。該当しない場合も専門医の診察が必要と判断されましたら、ご紹介ください。

愛媛県立中央病院、愛媛大学医学部附属病院、松山赤十字病院（あいえお医）の腎臓内科で協議して作成した紹介の目安です。

トピックス

- ①前立腺癌IMRTを通常照射（37回）から寡分割照射に変更（60Gy、20回）。
- ②膀胱癌の経尿道的手術前にアラグリオを内服する光線力学診断が使用可能に。

腎臓内科メンバー・外来担当

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
腎臓内科外来	鈴木	高橋	谷村	担当医	村上
腹膜透析外来				村上・鈴木	



毎日外来・緊急対応しています。
いつでも患者様を御紹介ください！



2026年泌尿器科メンバー



本年もどうぞよろしくお願いいたします！

糖尿病・内分泌内科

消化器内科

糖尿病・内分泌内科

A. スタッフ構成

1. 主任部長： 戒井 理 1988年愛媛大学医学部卒業
2. 部長： 大野敬三 1991年自治医科大学卒業
3. 部長： 宮内省蔵 1993年愛媛大学医学部卒業
4. 部長： 明坂和幸 1999年愛媛大学医学部卒業
5. 医師： 岡本全史 2019年愛媛大学医学部卒業
6. 専攻医： 宇都宮裕士 2022年愛媛大学医学部卒業

B. 外来診察体制

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1診察室	戒井	大野	宇都宮	戒井	大野
2診察室	明坂	宮内	明坂	宮内	岡本

C. 甲状腺エコー

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後	○		○	○	○

D. 甲状腺エコー下針細胞診

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後			○	○	

消化器内科 (愛媛県立中央病院)

2026年度目標

・医療レベルのさらなる向上

地域医療に貢献！

医療レベルをさらに向上させ、愛媛県内のみならず、全国的にもトップレベルの診療ができるように診療のレベルアップを目指します。

・医療安全の推進

地域の期待に応える！

リスクを伴う処置、治療が多いため、各人の医療安全意識の向上に努めるとともに、医療事故の発生確率を低下させるシステムづくりを医療スタッフと共に推進します。

・医学的エビデンスへの貢献

Local but global！

当院の診療経験で得られた知見をガイドライン作成に貢献できるような学術論文として継続して報告していくことで、自らの医療レベルの継続的振り返りを心がけて、日常診療へフィードバックを行います。

当科の役割

- 1.体系的な糖尿病教育
- 2.糖尿病患者さんの病態に応じた治療法方針の決定
- 3.食事療法、運動療法の指導
- 4.インスリンや血糖自己測定の手技指導
- 5.細小血管障害、大血管障害の精査
- 6.内分泌疾患の診断と治療
- 7.他科入院中の糖尿病患者の血糖コントロール

肝臓領域

肝炎

急性・慢性肝炎、慢性肝不全等
B型・C型肝炎に対する抗ウイルス療法
MASH診断治療・肝硬度測定

肝癌

肝癌に対する集学的治療
肝動脈化学療法(TACE)、
局所療法(RFA等)
分子標的治療/免疫療法

肝機能測定

肝臓治療

(RFA)

胆臓領域

胆道

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

胆管

胆嚢

消化管疾患

上部

(食道・胃・十二指腸)

下部

(小腸・大腸)

炎症性腸疾患

クローン病

潰瘍性大腸炎

IBDに対する免疫療法

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

IBDに対する遠隔連携

愛媛県中チーム・消化器内科を
よろしくお願いいたします。





消化器外科

■肝胆膵グループ

手術実績(2025年)肝胆膵グループ

	合計	開腹	腹腔鏡下	ロボット
原発性肝癌	55	18	37(67%)	
転移性肝癌	19	6	13(68%)	
肛門部胆管癌	1	1	0	
遠位胆管癌	5	2	0	3(60%)
胆嚢癌	10	4	6	
膵癌	45	21	5	19(42%)
膵腫瘍(膵癌を除く)	12	2	0	10(83%)
胆嚢結石、胆嚢炎	245	13	232(95%)	
脾疾患	2	1	1	

➤ 積極的に低侵襲手術を導入しており、ロボット手術が増加しています

消化器外科肝胆膵グループ



スタッフ 7名

大谷広美(センター長) 渡邊常太 花岡潤
宇都宮健 徳田和憲 岩川陽介

■下部グループ

手術実績(2025年)下部消化管グループ

	手術件数	開腹	腹腔鏡	ロボット
結腸癌	152	19	116	17(11%)
直腸癌	108	3	15	90(83%)
大腸穿孔	40	35	5	
虫垂炎	92	7	85	

➤ 大腸ロボット支援手術は2022年4月の結腸癌への保険適応をうけ、結腸癌に対してもロボット支援手術を導入し順調に施行できております。

➤ 直腸癌においては、ロボット手術の割合が、80%を超えています。より精緻な手術により、根治性を損なわない範囲で、機能温存に努め、より低位の直腸癌に対しても永久的人工肛門が回避できるように努めています。

消化器外科下部グループ



スタッフ 9名

吉山広嗣 古手川洋志 發知将規 松野裕介 渡部美弥
永岡智之 沖川昌平 石村葉穂 坪井奏

■上部グループ

【2025年 胃癌食道癌手術実績】

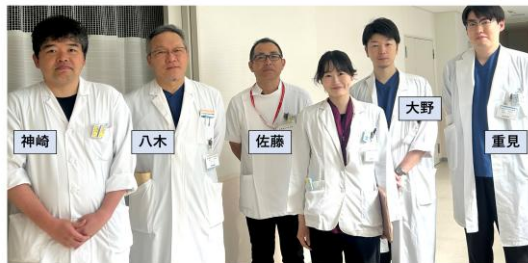
	手術件数	開腹	腹腔鏡	ロボット
胃癌 85例	幽門側胃切除	55	3	51(92.7%)
	噴門側胃切除	16	1	15(93.7%)
	胃全摘	11	0	11(100%)

		鏡視下手術
食道亜全摘術	食道癌・接合部癌	11例
	食道平滑筋腫	1例

➤ 胃癌に対してのロボット支援手術は、当科で2017年より導入し、2018年4月の保険収載を受け、年々割合が増加し、2025年は約90%の症例でダヴィンチを用いたロボット支援下胃切除を施行しました。

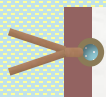
➤ 日本胃癌学会認定施設(A) 2023年～

消化器外科上部グループ



スタッフ 5名

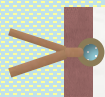
八木 草彦 佐藤 公一
神崎 雅之 大野 拓也 重見 侑弥



呼吸器内科

呼吸器内科の主な対象疾患

- 腫瘍：肺癌、胸腺腫瘍、胸膜中皮腫
- びまん性肺疾患：間質性肺炎、過敏性肺炎、好酸球性肺炎、膠原病関連肺疾患、薬剤性肺障害など
- 気道疾患：気管支喘息、COPD、気管支拡張症、びまん性汎細気管支炎
- 肺感染症：細菌性肺炎、抗酸菌症、真菌症、COVID-19肺炎
- 急性・慢性呼吸不全、喀血、気道異物、気道狭窄
- 胸部異常陰影



感染症内科

感染症内科の仕事

- Microbiology round
(血液培養や髄液培養や抗酸菌検査陽性例の併診)
- 血液培養陽性症例の併診 (20~30症例/月)
- 症例コンサルテーション (20~30症例/月)
- 外来 (梅毒、HIV)
- 2025年4月~妊婦、免疫不全者用のワクチン外来開始
(带状疱疹ワクチン、肺炎球菌ワクチン、RSV/3種混合)
- レクチャー&回診 (研修医、薬剤師向け)
- 常勤2名で活動中
- 学生実習+初期研修医ローテーション1-2名
月、不定期で後期研修医のローテーション

呼吸器内科 診療方針

- 愛媛呼吸器診療最後の砦となる診療意識
- 病診連携強化
- コメディカルとの連携強化
- 十分なインフォームドコンセントによる相互理解の向上
- 臓器にこだわらない全人的な診療
- 研修指導の強化
- カンファレンスの充実



TABLE 2. Recommended Immunizations for Adults With Cancer

Vaccine	Recommended Age	Schedule
Influenza ^a	All ages	Annually
RSV	60 years and older	Once
COVID-19	All ages	As per the latest CDC schedule for immunocompromised ¹⁷
Tdap or Td ^b	19 years and older	One dose of Tdap, followed by Td or Tdap booster every 10 years
Hepatitis B	19-59 years: eligible 60 years and older: immunize those with other risk factors ^c	For adults 20 years and older, use high antigen (40 µg) and administer as a three-dose Recombivax HB series (0, 1, 6 months) or four-dose Engerix-B series (0, 1, 2, 6 months) ¹⁸
Recombinant zoster vaccine	19 years and older	Two doses at least 4 weeks apart
Pneumococcal vaccine	19 years and older	One dose PCV15 followed by PPSV23 8 weeks later OR One dose PCV20 ^d
HPV	19-26 years: eligible 27-45 years: shared decision making	Three doses, 0, 1-2, 6 months

がん患者には化学療法開始前に様々なワクチン接種が推奨されている
⇒肺炎球菌 (PCV20、PCV21)、不活化带状疱疹ワクチンを中心に開始

Fertility Preservation in People With Cancer: ASCO Guideline Update

呼吸器内科スタッフ



中西徳彦
病院長
呼吸器指導医
アレルギー指導医



井上考司
主任部長
呼吸器指導医
がん薬物療法指導医
感染症指導医



勝田知也
呼吸器専門医
アレルギー専門医



橘さやか
呼吸器指導医
内視鏡指導医



中村尚季
呼吸器専門医



中村純也
呼吸器専門医
内視鏡専門医



近藤晴香
呼吸器専門医
内視鏡専門医



瀧田徹
内科専門医

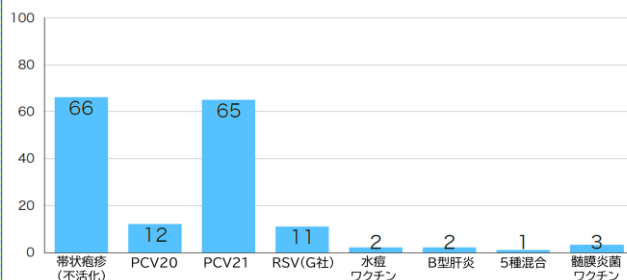


相原健人
内科専門医



近藤章敏
内科専攻医

成人に接種しているワクチン(妊婦以外)



带状疱疹ワクチンの接種者のほぼ全員に肺炎球菌ワクチン接種

演者作成

呼吸器外科

ロボット 胸腔鏡 開胸

手術指導医

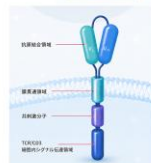
安全技術認定医

呼吸器外科

血液内科

新たな治療への取り組み CAR-T細胞療法 2026年2月～

・ CAR-T細胞療法の流れ ・



厚生労働省認定 四国唯一の
造血幹細胞移植推進拠点病院
平成元年～500例以上同種移植

愛媛県立中央病院血液内科



11

豊富な造血器腫瘍の症例数 愛媛県立中央病院血液内科

・ 2018年～2023年 院内がん登録件数

	県立中央病院		
悪性リンパ腫	651	584	528
多発性骨髄腫	138	120	116
白血病	340	227	242
その他	282	177	226
合計	1411	1108	1112

「白血病」と「良く分からない」場合に特に御愛顧いただいておりますが、**悪性リンパ腫・多発性骨髄腫**の診療にも力を入れていますので、紹介よろしくお願いします。

今後もリンパ節郭清にこだわった

上質の肺癌手術に努めます。

御紹介宜しく申し上げます

乳腺・内分泌外科

放射線科

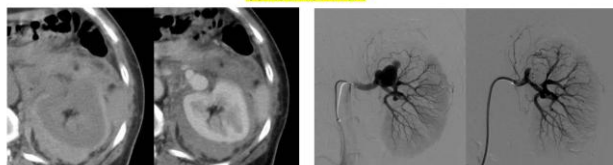
乳腺・内分泌外科



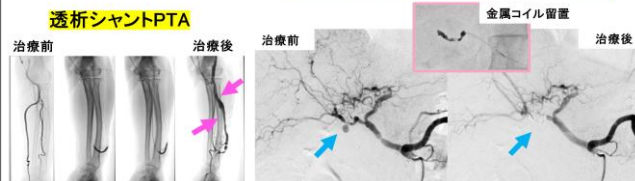
スタッフ一同です。
このような面々で日々の診療を行っています

乳腺・内分泌外科@医療連携懇話会2026/7/15

腎動脈瘤破裂



膵癌術後、肝動脈仮性瘤コイル塞栓術



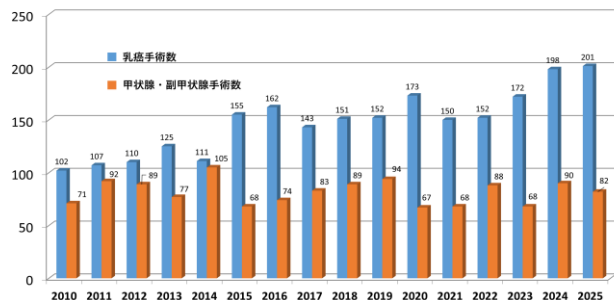
透析シャントPTA



診療実績

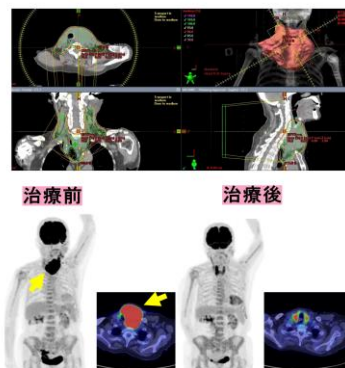
マンモグラフィ検査 2438件（約11件／1診療日）

超音波検査 2656件（約12件／1診療日）

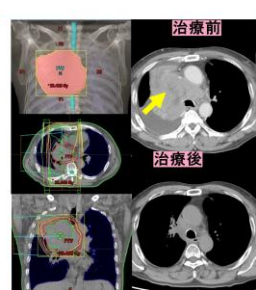


乳腺・内分泌外科@医療連携懇話会2026/7/15

悪性リンパ腫



肺癌

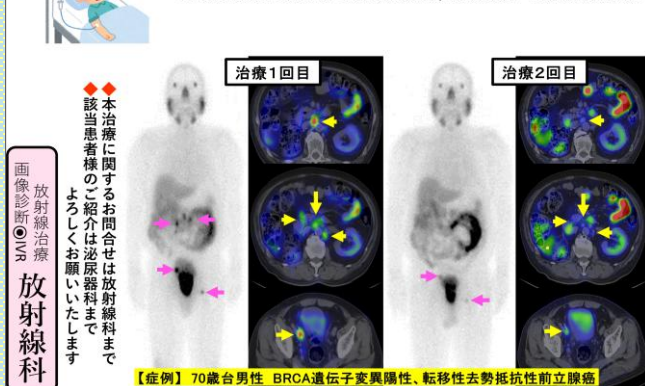


- 毎日、専門医が2診体制で外来をおこなっています
 - 紹介いただきたい具体的な患者さん
 - 乳房の異常を訴えられる方（しこり、乳首のただれ、血性乳頭分泌）
 - 乳癌検診や健康診断で異常を指摘された方
 - 触診で甲状腺のしこりを疑う方
 - 頸部US（頸動脈USなど）で甲状腺に腫瘤を疑う方
 - パセドウ病で内服治療中、コントロール不良、内服薬で副作用ある方
 - 慢性甲状腺炎で甲状腺腫大が著明になった方
 - 骨粗鬆症、尿管結石を繰り返す、採血したら高Ca血症、PTH高値の方
- 一紹介を迷う場合もまずはご紹介くださいー

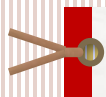
乳腺・内分泌外科@医療連携懇話会2026/7/15

プルヴィクト

- 《適応》PSMA陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌
- 新しい放射性リガンド療法;2025年9月に承認、11月より保険診療開始
- 6週間隔で最大6回、静脈内投与 入院で実施(特別措置病室1床有)
- 薬剤が病変に特異的に集積、放射線(β線)を放出→治療効果を発揮!!



【症例】70歳台男性 BRCA遺伝子変異陽性、転移性去勢抵抗性前立腺癌



脳神経内科

診療方針

日本神経学会認定神経内科専門医数（2026年6月）

愛媛県：41名（四国4県：145名 香川42名 高知27名 徳島35名）

広島県：146名

- 当科の診療方針として、脳、脊髄、末梢神経、筋肉のいずれの分野にも偏ることなく幅広く診療する。
- 特に治療に重点をおいた「**治せる脳神経内科**」を掲げて診療にあたっている。

入院診療実績(2025年)

◆脳血管障害(脳梗塞/脳出血/脊髄梗塞/脳静脈洞血栓症)	95
◆慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多発性運動ニューロパチー	59
◆てんかん	28
◆脳炎(ウイルス性、自己免疫性、傍腫瘍性、辺縁系)	25
◆多発ニューロパチー(自己免疫性、傍腫瘍性、代謝性、遺伝性)	20
◆ミオパチー(筋炎、筋ジストロフィー)	19
◆重症筋無力症	19
◆多発性硬化症/視神経脊髄炎	11
◆脊髄疾患	10
◆ギラン・バレー症候群/ミラーフィシャー症候群	9
◆運動ニューロン疾患(ALS)	8
◆内科疾患による神経・筋障害	7
◆認知症(アルツハイマー病、正常圧水頭症)	7
◆パーキンソン病	6
◆神経梅毒、クロイツフェルト・ヤコブ病	4
◆腫瘍性疾患(原発性脳腫瘍、髄膜癌腫症)	3
◆パーキンソン症候群	2
◆脊髄小脳変性症	2
◆多系統萎縮症	1
◆非感染性炎症性疾患(神経サルコイドーシス、神経ベーチェット病、神経スイート病)	1
◆不随意運動(ミオクローヌス、ジストニア、振戦等)	1

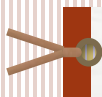
脳神経内科スタッフ

	脳血管障害	神経変性疾患	てんかん 頭痛	神経感染症	神経免疫 疾患	神経生理学 検査
岡本憲省	○	○	○		○	○
渡部真志	○		○	○	○	
白岡 朗	○			○	○	
大坪治喜	○	○	○			
久保 仁	○	○				○
浦田 彩 (専攻医)	○					

内科学会専門医：2名
神経学会専門医：4名
脳卒中専門医：3名

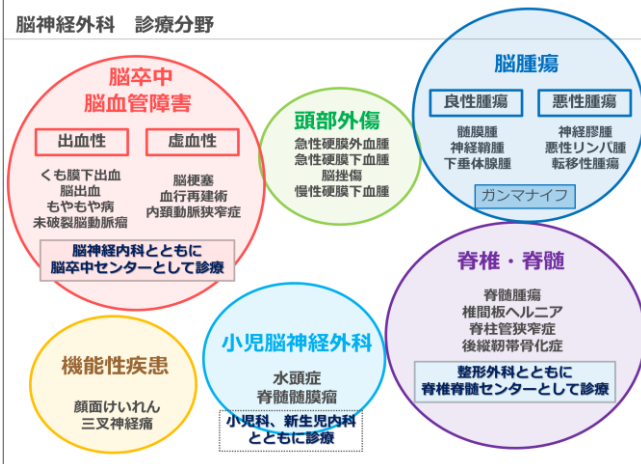
指導医：2名
指導医：2名

頭痛学会専門医：1名
脳血管内治療専門医：1名
老年学会専門医・指導医1名



脳神経外科

脳神経外科 診療分野



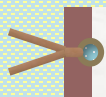
手術件数(2025年)

脳動脈瘤ネッククリッピング術	31	
脳内血腫除去術	14	
血行再建術	14	
頭部外傷手術	73	
脳腫瘍	27	
脊椎脊髄手術	32	
脳血管内手術	105	
水頭症手術	49	
ガンマナイフ	104	
その他	39	
合計	488	

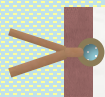
脳神経外科 スタッフ

脳卒中センター長 岩田 真治 1990 愛媛大学	主任部長 藤 憲行 1997 愛媛大学	部長 市川 晴久 1991 愛媛大学	部長 尾上 信二 1992 愛媛大学
部長 古川 清次 1999 愛媛大学	部長 尾崎 沙耶 2010 愛媛大学	医長 日下部 公貴 2015 宮崎大学	医長 安岐 龍晴 2016 愛媛大学

よろしくお願いします。



循環器内科



心臓血管外科

NEWS 1

成人の**心房中隔欠損症（ASD）**に対する
経皮的カテーテル閉鎖術を開始しました。



診療科紹介 心臓血管外科

【診療方針】

成人心臓および血管（大動脈から末梢血管）すべての
外科的疾患に対応する

【特徴】

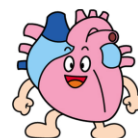
- ・緊急対応は24時間、365日
- ・開胸・開腹での治療のみならず、低侵襲治療にも注力
- ・ハートチームを形成し他職種とともに治療を行う
＜TA-TAVI, MitraClip, PFO closure etc.＞

NEWS 2

心房細動に対する **パルスフィールド
アブレーション（PFA）** の導入

心臓血管外科で扱う疾患

- ・虚血性心疾患
- ・心臓弁膜症
- ・その他の心臓疾患（腫瘍、血栓等）
- ・大動脈疾患（胸部、腹部）
- ・末梢血管（動脈、静脈）

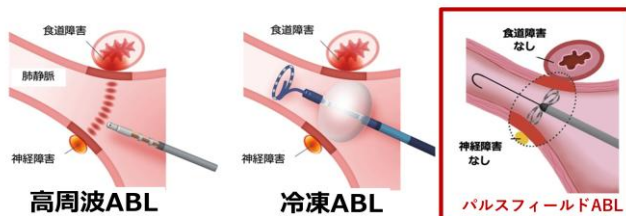


2024年手術総数 385例

パルスフィールドアブレーション（PFA）

高い安全性

手技時間短縮



Reddy VY, et al. J Am Coll Cardiol 2019;74:315-26 より改変

スタッフ紹介



石戸谷 浩



米沢 数馬



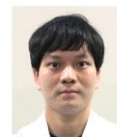
日野 阿斗務



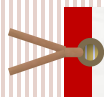
稲荷 真愛



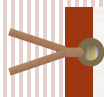
廣田 理峰



筑後 聡一郎



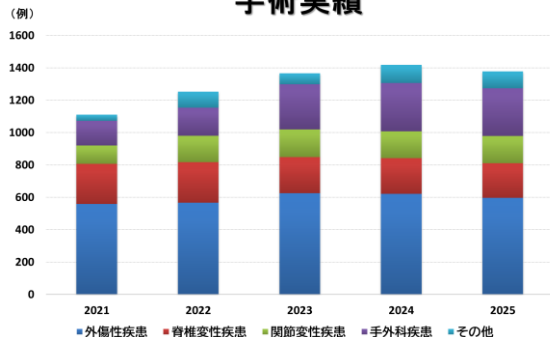
整形外科



耳鼻咽喉科・頭頸部外科

整形外科

手術実績



昨年度の手術件数は約1400例弱であり、その約4割を外傷性疾患が占めています。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

当科が扱う疾患は耳鼻・咽喉はもとより頭頸部(唾液腺・甲状腺を含む)の良性・悪性の腫瘍性疾患、感染・炎症性疾患、機能障害など多岐にわたります。地域の基幹病院として松山市内唯一の三次救急病院として、ほぼ全領域の患者に対応しており、患者さんや近隣の医療機関の信頼を得ることができるような医療を目指しています。年間手術件数は約600件で多種多様な疾患に対応しています。また、超選択的注放射線化学療法(RADPLAT)による進行頭頸部癌治療に積極的に取り組んでいます。

耳科手術(顕微鏡下、外視鏡下、内視鏡下)

鼓室形成術、鼓膜形成術、顔面神経減荷術など

鼻科手術(ナビゲーション手術)

内視鏡下鼻副鼻腔手術、鼻中隔矯正術、鼻副鼻腔腫瘍摘出術など

口腔、咽喉、頸部良性腫瘍手術

経口腔的咽頭腫瘍摘出術(TOVS、ELPS)、口蓋扁桃摘出術、嚥石摘出術

耳下腺・甲状腺良性腫瘍手術など

喉頭・気管手術

顕微鏡下・内視鏡下喉頭微細手術、誤嚥防止手術など

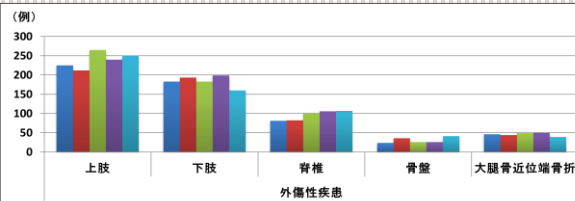
悪性腫瘍手術

悪性腫瘍拡大切除に伴う再建手術(鼻副鼻腔、舌、口腔、頬粘膜、咽頭(上、中、下)

喉頭悪性腫瘍)、頸部筋清手術など

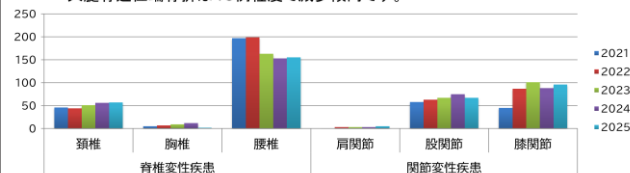
気道緊急手術

緊急気管切開術、扁桃周囲膿瘍切開排膿術、深頭部膿瘍切開排膿術



外傷性疾患

その内訳は上肢、下肢に次いで、脊椎や骨盤などの重度外傷症例が多く、大腿骨近位端骨折は40例程度で減少傾向です。



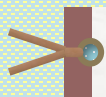
脊椎変性疾患

脊椎変性疾患では腰椎が、関節変性疾患では膝関節や股関節が多く、前年度より増加傾向です。

今後ともよろしくお願いします。



整形外科スタッフ一同、専門性の高い医療を提供できるようがんばっておりますので今後ともよろしくお願いします。

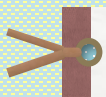


眼科

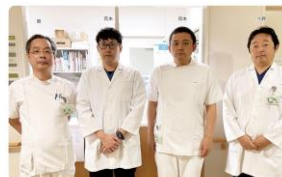
メンバー紹介

	役職	卒業年	出身大学
 山口昌彦 (やまぐち まさひこ)	主任部長	1990	大阪市大
 大熊真一 (おおくま しんいち)	部長	2008	愛媛大
 城戸龍樹 (きど りゅうき)	医長	2015	兵庫医大
 定成裕子 (さだなり ひろこ)	医長	2018	愛媛大
 中城珠里 (なかしろ じゅり)	医師	2024	愛媛大
 吉岡恵理子 (よしおか えりこ)	診療委託	2005	浜松医大

全員
愛大眼科医局所属



歯科



■ 久野 匡平 (ひさの きょうへい)

歯科部長

専門分野 口腔外科・有病者歯科

■ 宮本 真志 (みやもと しんじ)

歯科部長

専門分野 周術期口腔機能管理・口腔外科・有病者歯科

■ 菅 誠 (かん まこと)

歯科非常勤医師

専門分野 周術期口腔機能管理・口腔外科・有病者歯科

主任部長

荒本 孝良

(あらもと たかよし)

専門分野 口腔外科・有病者歯科

日本有病者歯科医学会認定医・専門医
日本口腔診断学会認定医
日本化学療法学会抗腫化学療法認定歯科医師
日本障害者歯科学会認定医
日本歯科放射線学会認定医
ICD制度協議会・インフェクションコントロールドクター
日本病院歯科口腔外科協議会理事
厚生労働省臨床研修指導歯科医

眼科担当表 (2026/7/1～)

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
外来	山口 近藤	大熊 城戸	中城	城戸 吉岡	大熊 山口
未熟児診療	○	○		○	○
手術	AM/PM		AM/PM	AM	AM/PM

【専門外来】

網膜硝子体：大熊真一(火/金)、吉岡恵理子(木AM)

緑内障：城戸龍樹(火/木)

白内障：全員対応

角結膜・ドライアイ：山口昌彦(月/金)

ロービジョン：山口昌彦(第2/4木PM予約制)

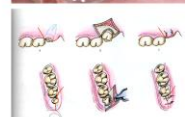
未熟児網膜症：全員対応

診療内容

口腔外科疾患全般

外傷性疾患 (歯槽骨骨折、歯牙外傷)
顎関節疾患
口腔粘膜病変
歯周炎、智歯周囲炎→抜歯
嚢胞性疾患 口腔腫瘍→切除、摘出術
睡眠時無呼吸症候群 (口腔内装置)
顎欠損補綴・摂食嚥下補助装置

有病者に対する一般歯科 (蝕歯、歯周病等)
障害者歯科
周術期口腔機能管理 (口腔ケア)



【白内障手術】

・疾患：白内障

・入院日数：1-2泊2-3日 片眼→2週間後に反対眼

・麻酔：点眼

・所要時間：10～40分 (難易度による)

【緑内障手術】

・疾患：緑内障

・入院日数：3泊4日～1週間 (片眼)

・麻酔：テノン囊下麻酔

・所要時間：30～90分 (難易度による)

【網膜硝子体手術】

・疾患：糖尿病網膜症、黄斑前膜、黄斑円孔、黄斑浮腫、外傷など

・入院日数

気体を入れない場合：3-4泊4-5日

気体を入れた場合：1-2週間 (重症度による)

・麻酔：球後麻酔

・所要時間：40～180分 (重症度による)

	2024	2025
白内障	794	722
緑内障	110	117
網膜硝子体	219	214
その他	112	216
手術合計	1,235	1,269
硝子体注射	819	897
レーザー手術	106	114
光線力学療法	6	4

【手術件数】

2025年はメインの手術である白内障が減少したものの、緑内障、その他の手術が増加し、全体でも1,235件→1,269件と前年比2.8%増

■ 初診・再診患者数

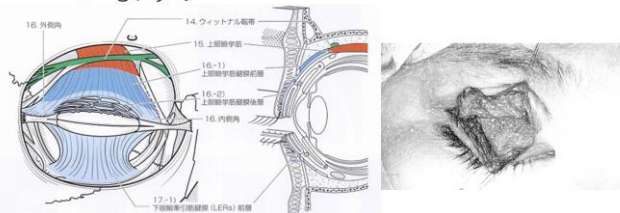
	2022	2023	2024
初診	2,871	3,223	3,743
再診	10,726	14,555	11,588

■ 手術および処置件数

手術および処置名	2022	2023	2024
通常抜歯	795	568	622
智歯、埋伏歯	905	697	691
消炎手術(口腔内、外、腐骨除去)	28	25	27
顎骨嚢胞、腫瘍	58	52	44
口腔内腫瘍	39	27	18
顎関節症	63	139	161
顎関節脱臼整復術	8	1	8
顎骨骨折、歯槽骨骨折	40	33	34
睡眠時無呼吸症候群	8	7	11
周術期口腔機能管理	1,545	2,093	2,630

形成外科・頭頸部外科

形成外科・顎顔面外科はいま、
眼瞼下垂症手術に力を入れています。



まぶたを上げる筋肉・筋膜（上眼瞼挙筋・挙筋腱膜）を前方に移動させ、まぶたを開きやすくします。
（左図は自著書より抜粋、右図は実際の手術で挙筋腱膜を睑板前組織に固定したところ。）

美容外科専門医により機能と見た目を両立させた眼瞼下垂症手術を行います。



皮膚科

皮膚科

■ 皮膚に関連するすべての疾患を扱います

- ・ 診断困難例
- ・ 重症・難治例
- ・ 全身症状を伴う症例
- ・ 手術を要する症例 など

■ 皮膚科での入院対応が可能な有数の施設です

■ 分子標的薬の使用承認施設に認定されています

- ・ アトピー性皮膚炎、乾癬などの炎症性皮膚疾患に対して生物学的製剤、JAK阻害剤などを多く導入

皮膚科

■ 外来診療

- ・ 生物学的製剤（注射）：アトピー性皮膚炎 88例、痒疹 34例、慢性蕁麻疹 24例、乾癬 57例、壞疽性膿皮症 2例、化膿性汗腺炎 2例
- ・ JAK阻害剤（内服）：アトピー性皮膚炎 5例、円形脱毛症 20例、乾癬 9例
- ・ 紫外線治療 対象疾患：痒疹、アトピー性皮膚炎、乾癬、菌状糸肉症など
施行件数 1112回/年

■ 入院診療

- 細菌感染症（蜂巣炎、膿瘍など） 10例、薬疹・中毒疹 20例、水疱症 4例、手術・悪性腫瘍 12例、円形脱毛症（ステロイドパルス） 11例、広範囲熱傷 6例、難治性潰瘍 8例、その他 8例

■ 手術

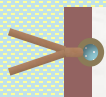
- ・ 悪性腫瘍 29例
 - ・ 良性腫瘍 50例
- （症例数：2025年度実績）

皮膚科



■ 外来担当医 長年当院で勤務されてきた定本医師が2026年9月末で退職します。

月	火	水	木	金
松本 眞田	松立 松本	定本 眞田 (~2026.9月)	松立 松本	定本 松立 (~2026.9月)



総合診療科

こんな患者さんを対象としています

□ 基本的にはいかなる健康問題にも対応します！

よくわからない患者さん

複雑な患者さん

こころの問題を抱え、身体不調の患者さん

健診異常の患者さん

□ 昨年度からリウマチ専門医が加わり、不明熱や関節痛などの診療がより強力になりました。

2025年度診療実績

入院患者	120人
呼吸器疾患	8
神経疾患	2
消化器疾患	13
腎・泌尿器疾患	9
アレルギー・膠原病	16
感染症	33
循環器疾患	3
糖尿病内分泌代謝疾患	13
血液疾患	9
その他	14

地域医療連携

819人の患者さんをご紹介します。

どうもありがとう
ございました

Take home message

どこに紹介したらいいのかわからない患者さんは、
まず当科にご紹介ください。



第153回 医療連携懇話会

- 日時** 令和 8 年 9 月 16 日 (水) 19:00~20:00
- 場所** 愛媛県立中央病院 講堂
- テーマ** 【見逃さない悪性リンパ腫（リンパ節腫大の鑑別診断と紹介のポイント）と最新の治療（二重特異性抗体とCAR-T細胞治療）】
- 座長** がん治療センター長 名和 由一郎
- 演題**
- ①『日常診療で遭遇するリンパ節腫大 ～経過観察か、それとも紹介か？～』
血液内科 主任部長 中瀬 浩一
 - ②『紹介された患者さんはどうなる？ 愛媛県立中央病院でのリンパ腫診療の実際』
血液内科 医長 阿部 将也
 - ③『ここまで進化したリンパ腫治療 ～当院で可能となったCAR-T細胞療法～』
血液内科 部長 佐伯 恭昌

第154回 医療連携懇話会

COMING SOON !

日時 令和 8 年 11 月 11 日 (水) 19:00~20:00 **テーマ** 『循環器』について（仮）

地域医療連携 ネットワークサービス

媛さくらネット

参加無料

<2025年現在閲覧できる項目>

- ・処方・注射・検体検査・病名・退院時サマリ・画像（放射線、エコー、生理検査）
- ・循環器動画・放射線画像診断レポート（退院時サマリは2023年4月1日以降の情報となります）

アレルギー情報へのアクセスが簡単になりました！

お申込・詳細はコチラから [Click!](#)

<リンク先> 愛媛県立中央病院ホームページ

次号のお知らせ 9月号 (No.57) は、2026年9月中旬頃刊行の予定です。お楽しみに！

メール登録のご案内

各種ご案内やお知らせをメールで受け取れます。動画視聴のみを希望される医療機関関係者のご登録も受け付けております！

- ◆方法① ・下記の地域医療連携室のメールアドレスへ、以下を記載し送信してください。
- <件名> メール登録（医療機関名） <本文> 医療機関住所、電話番号
- <動画視聴のみのご希望の場合> 「限定公開動画のみ」と記載をお願いします

地域医療連携室メールアドレス： c-renkei@eph.pref.ehime.jp

- ◆方法② ・本用紙でのお申し込み



キ リ ト リ

・愛媛県立中央病院 地域医療連携室に下記の登録をいたします。

<医療機関名> _____

<医療機関住所> _____

<電話番号> _____

<動画視聴のみのご希望の場合> ☐ 限定公開動画のみ希望（チェックをお願いします）

<メールアドレス> _____ @ _____

ご記入いただきました個人情報は、必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理し、メール送信の目的にのみ利用させていただきます。